

## 合格体験記 21

埼玉大学 教育学部学校教育教員養成課程 小学校コース文系 心理学教育実践学専修 進学

他の主な合格校： 東洋大学 国際関係学部、武蔵野大学 人間関係学部（センター利用）

### 1 志望校決定について

高校に入ってから夢や将来の志を考えるようになり、その夢を実現するために自分に必要なことを学べる学部、大学を探した。2年生の時に受験したセンター同日模試の時に埼玉大学と決めた。

### 2 学習計画について

#### (1) 1、2年次の学習について

オンとオフをしっかりと切り替える。部活や行事で忙しかったり、遊びたい気持ちが大きいと思うけど、毎日必ずやることを決めてルーティン化する。英単語を一日3個ずつ覚えていくと一年で1825個も覚えられる。登下校や部活活動時間前などの隙間時間を有効活用して、単語を覚えるといいと思う。

#### (2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

人によって自分に合う勉強方法があるから、とりあえず色々な勉強法を試してみる。授業は常に疑問を探しながら聞く。受け身では意味がない。受験が近くなってくると授業を受けなかったり、自宅学習をする人がいたが学校に来て先生の解説を聞くほうが、視覚と聴覚を使うのでより身につく勉強ができたと思う。

私は長期計画と一週間計画を立てていた。一週間計画は細かく何時に何をするかスケジュールを立てた。長期計画は一か月ごとに計画通り進んでいるか確認して、ずれていたら組みなおしていた。小さな目標と大きな目標があるといいと思う。

過去問は夏休みくらいから少しずつ触れていくといいと思う。私は数学が苦手だったから一回分を解くのではなく、大門別に解いて解説を見るというサイクルで勉強していた。苦手科目は早急に手を付けて無くしておく。

模試は大切に受けるべき。必ずと解き直しノートを作っていつでも振り返り出来るようにしておく。

予習も大切だが、復習も大切。私は復習に重点を置いていた。特に、暗記物はその日のうちに必ず見直す。問題まで解いて定着させるとなおいいと思う。

#### (3) 利用した参考書・問題種、その利用法

学校のワークや教科書を一番使った。先生方からもらうプリントも大切に保管するべき。参考書ではないが、教学社の赤本ノートが解き直しや分析するのに役立った。3年の夏休み以降はどれだけ過去問を解いたか、問題に触れたかがカギだと思う。

#### (4) 模試の活用方法

一回ずつ模試に向けての計画を作って挑む。今の自分に足りない知識が何かを見つける材料にしていた。また、受験生の中での自分の立ち位置を知ることのできる重要なものとして受けていた。私は友達と模試の結果を見せ合ったりして、比べることで意識を高めていた。

#### (5) 予備校の活用方法

3年の4月に入塾した。英語と苦手だった数学でお世話になった。しかし、一度学校で授業を受けているため、塾に行くにしても本当に必要なものを選択すべき。まずは学校の授業を優先して取り組むほうがよいと思う。

#### (6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

私は運動部のマネージャーだったが、部活に力を入れすぎて両立をしっかりと出来たとは言えない。しかし、毎日とは言えないが1、2年の時は30分でも自習室や廊下に残って勉強していた。持続して行い習慣づければ、両立も苦ではないと思う。

行事も手は抜かず、企画係として引っ張っていった。夏休みは短いようで長く、受験期は一人で勉強していると心が折れそうになる時もある。でも、文化祭練習で友達と顔を合わせることで少し息抜きになることもあるから、参加すべき。行事に一生懸命取り組むことができた人の方が9月以降受験生として上手に切り替えていた。1、2年のうちは部活や行事に打ち込む人がほとんどだと思うが、勉強ゼロ時間はあとあと自分に跳ね返ってきてつらい。課題を計画的に進めたり、毎日5分でもいいから単語帳を開くことをお勧めする。

#### (7) 後輩へのアドバイス

私は一年生の時から数学につまずいた。今は忙しいからと苦手を後回しにしていたら、あっという間に受験を意識する時期になった。そこからの立て直しはとても大変だったから、少しでも疑問や不安を持ったなら、すぐに解消すべき。部活や行事は思いっきり楽しんだ方がよい。そこで培った集中力や忍耐力が受験期に活かせることもある。

受験生になると沢山の参考書に手を付けたくなると思うが、やめたほうが良い。焦っているいろんなことをするよりも、自分なりの勉強法を作ったのなら最後までやり通す。不安なら先輩や先生にはたくさん質問、相談すべき。自分だけでは見つからない答えが見えてくるかも！

早くから道を狭めるのではなく、私のように数学がとてつもなく苦手でも継続すれば出来るようになることもあるから、無限の可能性を潰さないように諦めないで。

#### (8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

桜の咲いていた3年前の入学式からあっという間に3年が過ぎた。部活動や勉強ははっきり言って楽しいだけでは成り立たず、辛いこともあったけど、優しく面白く素敵なムサキタ生に出会えたことがこの学校からの一番大きなプレゼントだ。もっと早くから、勉強していれば、もっとしっかり授業を受ければ、と卒業した今「たられば」ばかり思う。だから、ムサキタ生として在校している皆さんは是非思い立ったその時に行動してほしい。

## (9) 合格した時の喜び

私は国立大学の公募推薦で合格を勝ち取った。志望動機作文と面接、センター試験が課される受験方法だったが、私は話すことが得意だったから面接で自分の長所を大学側に見せることができたと思う。ムサキタは私立でも国公立でも一般入試のみを受ける人がほとんどだが、自分の目指す大学にはきっと調べていないだけで合格するチャンスは沢山ある。夢なんて変わるかもしれないけど、夢や志を持つことでより大学に行きたいと思えるようになると思う。ムサキタには将来を考える機会が沢山あるから自分を見つめて進路を決めるべき。